



特集

平成30年度春季集落座談会 ご意見・ご要望について

3月8日～15日までの6日間、管内45会場で春季集落座談会を開催しました。今回の座談会では、第8次三カ年計画や平成31年度経営計画、地域営農ビジョンなどについて説明しました。今回の特集では、出席していただいた279人の組合員の皆さまから、貴重なご意見・ご要望をいただき、その主な内容についておつなぎいたします。なお、重複している内容については、集約させていただきましたので、あらかじめご了承ください。

協議事項1

J A あきた白神第八次3カ年計画
(案) ニックン

Q 多収品種米への取り組みはどのようになっているのでしょうか。また、県北地区の米の食味は上げることができないのでしょうか。

今後、あきたこまちに代わる新品種は、どのような計画となっておりますか。

A 30年度より農政が変わり「需要に応じた生産」を行う事になりました。多収性品種については、新規需要米（飼料用米）でいかに収量を上げるかで取り組みましたが、現在、取組者が限定されており、その都度相談活動を行っております。

また、食味については、当JAとして、高品質良食味米を生産するため、展示圃を設け食味向上に努めております。新品種については、平成34年本格デビューしますが、31年5月に「新品種ブランド化戦略本部（仮称）」を県で設置し生産、流通、販売の戦略から、栽培適地や生産・出荷基準の設置、現地栽培試験、計画的な種子生産整備を進めるため、行政と連絡を密にし検討協議してまいります。実証圃については、平成33年度に行政と連携して設置する予定です。